

写真で紹介 ウポポイ1周年 記念イベント

古式舞踊

晴天の湖畔で繰り広げられたアイヌ民族の古式舞踊



宇梶さんと絵本作家・そらさん、財団職員の3人が、それぞれの立場からアイヌ文化、ウポポイについて語りました



トークショー

松浦武四郎 inウポポイ

「北海道の名付け親」とされる松浦武四郎。彼のふるさと三重県松阪市が、ウポポイ開業1周年を記念して「武四郎講座」「パネル展」「松阪もめんコースターへのアイヌ文様刺しゅう体験」を開催しました



ポロトミンタラフェスティバル2021始まる

大勢の来場者がアイヌ文化に触れる 第1弾は「祝ウポポイ開設1周年記念イベント」



7月17、18日の日程で駅北観光インフォメーション横の屋外スペースで開催されました。会場ではアイヌ文様が施された小物・アクセサリーなどアイヌ民族に伝わる美しく繊細な工芸品の販売や、伝統料理「オハウ」(汁物)の無料提供、古式舞踊の披露などが行われ、来場者がアイヌ文化に触れていました。



初日は気温もぐんぐん上昇する晴天に恵まれました。100食限定で無料提供された「オハウ」は、暑い中でも大人気。町が幹旋している「お試し暮らし」体験中の愛知県名古屋市から来た夫婦は「イベントを知り駆け付けました。オハウはとてもおいしい。初めて食べましたがとても自然な感じがします」と感想を話していました。白老民族芸能保存会がムックリ演奏や古式舞踊を披露しました。来場者は日差しを遮る休憩テントに身を寄せ写真や動画に収めるなど興味深く見入り、盛大な拍手を贈っていました。



会場にはほか、アイヌ料理のお弁当販売や民族伝統の野草茶「エント茶」の無料試飲コーナー、新鮮野菜の販売、かき氷コーナーも店開きし、終日にぎわっていました。同フェスは8月21日(土)、22日(日)は「しらおいこども祭り」、9月25日(土)は「ポロトミンタラ音楽祭」が開催されます。